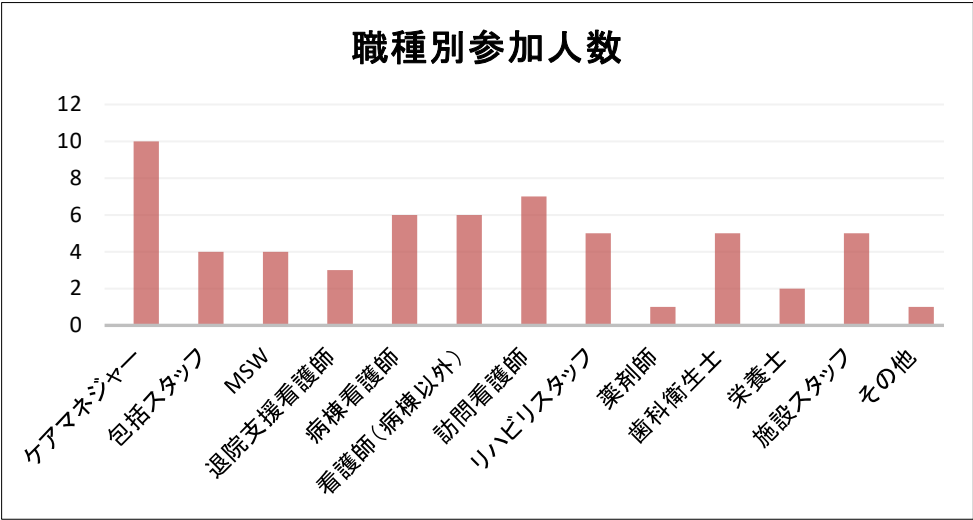


令和6年度「入退院支援連携強化研修会(ガイド編)」 アンケート集計結果

資料4

n = 54 (回収率:91.5 %)

研修参加人数:59名
職種参加人数



1. 所属機関をお聞かせください。

・医療機関	28	(51.9%)
・介護機関	22	(40.7%)
・その他	4	(7.4%)

2. 現在、従事されている職種をお聞かせください。

・保健師	1	(1.9%)
・看護師	19	(35.2%)
・ケアマネジャー	12	(22.2%)
・相談員	5	(9.3%)
・社会福祉士	5	(9.3%)
・リハビリスタッフ	5	(9.3%)
・薬剤師	0	(0.0%)
・栄養士	1	(1.9%)
・歯科衛生士	4	(7.4%)
・その他	2	(3.7%)
(施設長, 記載なし)		

3. 今回の研修はいかがでしたか。

・よかった	53	(98.1%)
・どちらともいえない	0	(0.0%)
・よくなかった	0	(0.0%)
・無回答	1	(1.9%)

【ご意見等】

【ケアマネジャーからの意見】

- ・話しても終わらない。でもとても良い話ができしました。これを繰り返す事でズレが埋まっていく気がします。顔の見える関係が大切だと思いました。
- ・ズレに関してそれが発生することもそうですが、ズレがあるという事実とそのズレの解消が思った以上に大変であると感じました。私は在宅で利用者さんが不便なく生活できればいいと思っています。そうなるように協力していただければ助かります。
- ・色々な職種とこのテーマで話ができよかった。病院内でもズレがあることもわかった。今後の入退院支援がやりやすくなる気がした。
- ・色々な職種の方の意見が聞けてよかった。あるある！え？そうなの？と話せてよかった。
- ・それぞれの職種の意見がきけたので良かったです。特に病棟看護師さんと直接やり取りすることがないので貴重でした。
- ・いろいろたくさんの意見を聞く事ができました。多職種の方のお話をきくことができました。
- ・様々な職種、病棟看護師などの本音が聞く事ができてよかった。
- ・本音でそれぞれの立場で意見を伝えられたと思う。とても参考になりました。
- ・多職種の意見を聞きながら様々な意見を学べた。
- ・自分も感じた事があるテーマだった。看護師さんとお話しができよかった。入院時に患者さんのどういう自宅復帰を考えているかお話を聞けてよかった。
- ・様々な専門職の方の意見が聞けてよかったです。
- ・多職種の専門的な話がきけたのでよかった。(看護師さんの話や理学療法士さんの話がきけたので)

【医療機関：看護師からの意見】

- ・多職種の話や気持ち、考えを話し合うことができ、サマリー一つでも書く言葉や具体性が必要と考えることができました。
- ・色々な職種で話ができ、とてもよかった。ズレが思ったより大きかったので今後ズレのないような支援をしていきたい。
- ・色々な立場の方とお話しができ学びになりました。ありがとうございます。
- ・同じテーマでもメンバーが変わると意見が変わるのが面白い。
- ・他職種との思いや現状を話し合う機会となり、とても参考になりました。お互いを気遣うことが大切だなと感じました。
- ・色々な方の立場にたった意見を聞く事ができ、考えを知る事ができた。
- ・ズレは「人」「環境」で、ズレて当たり前。ズレてると思って話し合っていく。お互いの話をするズレを修正してズレる原因、ズレやすいところ、ズレないための具体的方法が話し合いの中で学べた。
- ・違った職種の方とズレについて違った方向から意見が聞けて、とても学びになりました。
- ・実際に日常的に直面することから「ズレ」について考える事ができた。
- ・他職種の意見や思いを知る機会になったと思う。情報収集など自分に不足している事の気づきにもなりました。
- ・色々な職種の方々と話ができよかった。それぞれの立場で視点がちがったりするズレをいかに共有するかの方法をしる事ができました。
- ・看護師の視点だけでなく他職種の視点、知りたい事望む事を聞く事ができてよかったです。
- ・伝え方の重要性を再認識しました。
- ・様々な職種の方とグループワークを通して意見交換ができた。
- ・多職種の方々の生の話を聞けました。病院⇄介護療養のつながりが強くなれたらと思いました。

【介護機関：看護師からの意見】

- ・情報の認識のズレはたくさんある事がわかった。
- ・多職種での研修で色々な考えだったり思いだったりとお聞きする事ができ良い機会になりました。ありがとうございました。
- ・多職種の方達もズレを感じている事がわかった。ズレは、コミュニケーションなので皆さんの困った事例をきくことができ自分自身も病院やケアマネさん達と情報交換がスムーズにいくようスキルを身につけていこうと思いました。

【保健師からの意見】

- ・自由に話せる雰囲気がい。正解がないのがよい。自由に書けるのがよい。

【医療機関:相談員からの意見】

- ・各施設1事業所の取り組みや情報共有する際に、関わりの際の様子や情報は重要になると感じました。今後、記録やアセスメントする場面で何回のうち何回など具体的な情報のやり取りが大事だと感じました。
- ・グループワークが活発でよかった。

【介護機関:相談員からの意見】

- ・さまざまな職種の方々と意見、情報交換できてよかった。相談員になり浅いので、これからテーマに気を付けながら退院支援していきたい。
- ・現状を知り明日から活かせるから

【その他:相談員からの意見】

- ・いろいろな職種の方の考えを知ることができてよかった。

【医療機関:社会福祉士からの意見】

- ・各職種の視点から具体的な話が伺う事ができた。年齢相応、おおむね等普段の業務で使いがちであり改めて主観であると気づいた。客観的に伝わるような表現が望ましいと感じた。医療、介護のズレが少しでも埋まるようMSWとして唯一の病院での福祉職としての役割を担いたい。
- ・ファシリテーターの方の進め方で、メンバーそれぞれの意見の補助がとても素敵でした。
- ・病院でできること(提供できる)と地域でできること(提供できるサービス、変えられない生活様式やスタイル)のギャップもある。退院前の家屋調査でも本人が頑張ってしまう退院後できないことがあって困ったという話があった。「できるADL」と「しているADL」を見極めて、どんなサービスが必要か多職種で考えることが大事であるとわかった。

【介護機関:社会福祉士からの意見】

- ・多職種の考え方、他事業所の立場などがわかってよかった。

【その他:社会福祉士からの意見】

- ・他職種の方の話を聞く事で違う角度での話を聞けた。

【医療機関:リハビリスタッフからの意見】

- ・多職種との情報共有、思い。
- ・普段なかなか話をできない方々と話をすることができ、新たな視点も得る事ができました。
- ・他職種、各立場からの生の話がきけてとても有意義でした。

【介護機関:リハビリスタッフからの意見】

- ・多職種と共通の課題での悩みを共有できた。
- ・普段接する機会のない急性期回復期のスタッフの皆さんのお話を聞く事ができてよかったです。

【歯科衛生士からの意見】

- ・様々な職種、立場の方の生の声を多く聞く事ができ、とても有意義でした。
- ・普段病院職員以外とこのような形で話し合いをしたり意見の交換をする事がなかったので大変勉強になりました。
- ・多職種とのグループワークでそれぞれの思いをしる事ができました。
- ・昨年と同じテーマでしたが、昨年と違った意見が出たりと有意義な時間を過ごす事ができました。ありがとうございました。

【栄養士からの意見】

- ・いろいろな職種の方のお話が聞けて、とても勉強になりました。

【その他からの意見】

- ・色々な職種の方の意見をきくことができて、とても参考になりました。顔の見えるコミュニケーションを今後もとっていきたいと思いました。ありがとうございました。

4. 今後、入退院支援連携について、どのような内容の研修会を希望されますか？

【内容について】

- ・入院退院時の医療機関との連携について
各専門職が他の専門職に何を求めているかについて
- ・他職種は患者について何を知りたいのかという所を共有するのは難しいイメージがあるので、その共有ができたりすると思いました。
- ・病院(医療)と介護や在宅との連携がスムーズになるシステムや方法などが学べるものがあればいい。
- ・この内容で継続してほしい。

- ・事例を変えて同じテーマで開催されるとよいと思います。
- ・医療⇄在宅の事例でしたが、医療⇄施設の事例だともう少しイメージがしやすかった。
- ・意思確認の場面、連携について意見を交わしたい。

【事例、現場の実際に関わる内容】

- ・退院カンファレンスの進行や多職種での関わり方、会議の進行についてサマリーやシートへの追加項目や希望を聴取するような研修会。
- ・忙しい中でこんな情報があると役立つ等知りたいと思った。
- ・認知症の方への伝え方、言葉の使い方伝え方、コミュニケーションの場
- ・実際の事例をあげた入退院支援について
- ・入退院支援における病院や施設での取り組み
- ・心理的支援や関係性における研修があってもよい。

【研修方法の希望】

- ・もっと多くの方がこの機会を得る事ができるといいと思います。内容は同じでもいいと思います。
- ・今日の内容で年2回ペースで行ってもよいと思います。1回目もそうでしたが時間があつという間でした。（良い意味で）
- ・同職種で検討するのもよいと思いました。
- ・医師がGWに参加できる研修
たぶんハードルが高いので、多職種連携に興味があるもしくは必要性を感じている医師が受けれる研修会。出前講座的はもの。医師をまきこみたい。
- ・病棟看護師も参加する今日のような研修、楽しかったです。
- ・受け手の施設や直接支援者かたの意向も伺いたい
- ・多職種で交流がもてる研修
- ・今回のような取り組み楽しかったです。研修時間も90分ちょうどよいと思いました。
- ・今日のようにひとつのテーマでGWで話し合いたい。
- ・グループワークを中心とした研修をお願いしたいです。
- ・今回のような研修を

5. その他、ご意見・ご質問等がございましたらご記入ください。

- ・訪看が必要そうだなと感じたら、ぜひ家屋調査から立ち会わせていただきたい。ズレが一つなくなるかも。
- ・ざっくばらんに話ができるよい機会となりました。それぞれの現状を話し合える場があると勉強になります。
- ・参加しやすい研修でしたので、次年度もお願いいたします。
- ・各専門職の認識のズレの解消もそうですが、どういう考え方で仕事しているか、他職種も知る機会が必要なのかと思いました。
- ・次回も参加したいと思える研修会でした。
- ・病棟でのスタンダードと在宅でのそれには違いがあるように思います。患者さん家族の方の認識知識が不足していると感じてもそれは伝える側の不足だと思います。健康～終末期についての知識が高まるように働きかけて生きたいです。ACPとか。
- ・お疲れさまでした。
- ・準備された皆さま、本当にお疲れさまです。
- ・堅苦しさのなさが良いです。
- ・次回も参加したいと思いました。
- ・また参加させていただきたいと思います。ありがとうございました。
- ・看取りのパンフレットは使わせていただいています。
- ・最後の看取りのお話しにに関してですが、病棟看護師としてはなるべく自宅での時間を・・・という気持ちがあったのではないかと思います。なるべく早く帰すために動いたのではと思いました。それでもコミュニケーション不足は否めませんが。
- ・研修の準備など、お疲れ様でした。

ご協力ありがとうございました。